

Q 生ゴミ減量のため堆肥化を

石下 洋子 議員

A 処理機購入への助成を実施

市長

Q 生ゴミの消却灰から出る有害物質による水質・大気汚染は重大問題です。

A 市は、生ゴミ減量のため堆肥化を進めたら、適正分別をして減量化を進めている。生ゴミ処理機購入の助成を

実施している。
Q 市の建設計画作成の進捗状況は
A 合併協議会作成の「建設計画」を基本にして、市の「総合計画」を作成する。
Q 若年人口の減少は重大問題。若者の働き

口を増やすための取り組みは。
A 各種産業の振興が働き口増加につながる。江田島市産業活性化推進会議などの提言を受け、産業振興を図る。
Q アスベスト被害と市内諸施設への使用状



▲生ゴミ処理機で減量化に一役

Q 市内5港湾の整備方針は

大石 秀昭 議員

A 国・県と協議しながら進める

市長



▲埋立て整備が進む中田港（能美町中町）

Q 市内の中田・小用・三高・鹿川・大柿の各5港を一箇所にしほり、港湾名を統一するよう国土交通省から指導を受けており、今後どのように考えているか。
A 5港を効率的・効果的に活用できるように

に、国・県と相談しながら進めます。
Q 議会棟は、全員協議会で江田島支所に決まったが、今後本庁舎についてはどうか。
A 合併時の建設計画にありとおり、住民の利便性等を十分考えて、

今後、仮称「新庁舎整備に関する検討委員会」を設置し、整備計画を策定する。
Q 今、市民のあらゆるボランティア活動で、市の活性化を図っていますが、傷害保険の負担を

自治会活動保険の全市民の加入費について、補助金を出している。社会福祉協議会が入っている保険はあるが、ボランティア活動の届出が前提です。

Q 廃屋対策への考えは

住岡 淳一 議員

A 非常に厳しい問題

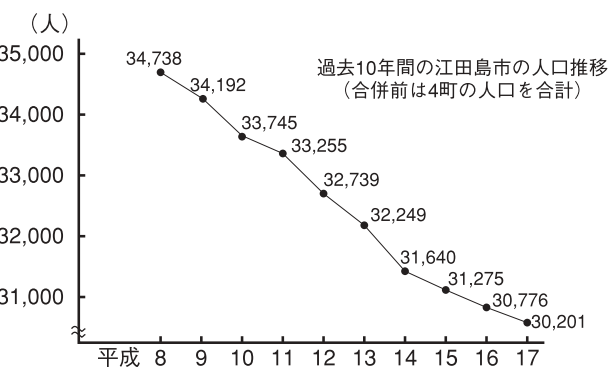
市長

Q 江田島・能美・沖美・大柿地区の方々から、廃屋についての質問や不安の声を聞いています。防犯・防災・事故等の観点からも、周りの景観を損ねることからも、個人の財産権の問題と承知しているが、市長の廃屋

対策の考えは。
A 現時点では、住民からの通報やパトロールにより情報を一元化し、現場を確認し、適切な処置をしていただくよう所有者に指導している。
Q 市の人口は、10年前と比べて4千人以上

の減少で、廃屋が増える傾向にある。廃屋の再利用等の施策はありますか。
A 基本的には個人の生命財産は自ら守るのが鉄則です。今後の方策は、ふるさとづくり協議会の中で議論している。いろいろな人の意見を踏

まえ廃屋対策について考えていきたい。



区域	江田島町	能美町	沖美町	大柿町
戸数	約50戸	約30戸	約10戸	約20戸

Q 特色ある保育園を

沖 也寸志 議員

A サービス向上に努める

市長



▲保育園事業のサービス向上に努めます

Q 本市では、次世代育成支援行動計画を策定し、推進しています。保育園も時間延長、一時保育等、サービスの充実

に努力しています。少子化と過疎により園児が減少している中、今後より特色のある保育園が望ま



Q 生ゴミ減量のため堆肥化を

石下 洋子 議員

A 処理機購入への助成を実施

市長

Q 生ゴミの消却灰から出る有害物質による水質・大気汚染は重大問題です。

A 市は、生ゴミ減量のため堆肥化を進めたら、適正分別をして減量化を進めている。生ゴミ処理機購入の助成を

実施している。
Q 市の建設計画作成の進捗状況は
A 合併協議会作成の「建設計画」を基本にして、市の「総合計画」を作成する。
Q 若年人口の減少は重大問題。若者の働き

口を増やすための取り組みは。
A 各種産業の振興が働き口増加につながる。江田島市産業活性化推進会議などの提言を受け、産業振興を図る。
Q アスベスト被害と市内諸施設への使用状



▲生ゴミ処理機で減量化に一役

Q 市内5港湾の整備方針は

大石 秀昭 議員

A 国・県と協議しながら進める

市長



▲埋立て整備が進む中田港（能美町中町）

Q 市内の中田・小用・三高・鹿川・大柿の各5港を一箇所にしほり、港湾名を統一するよう国土交通省から指導を受けており、今後どのように考えているか。
A 5港を効率的・効果的に活用できるように

に、国・県と相談しながら進めます。
Q 議会棟は、全員協議会で江田島支所に決まったが、今後本庁舎についてはどうか。
A 合併時の建設計画にありとおり、住民の利便性等を十分考えて、

今後、仮称「新庁舎整備に関する検討委員会」を設置し、整備計画を策定する。
Q 今、市民のあらゆるボランティア活動で、市の活性化を図っていますが、傷害保険の負担を

自治会活動保険の全市民の加入費について、補助金を出している。社会福祉協議会が入っている保険はあるが、ボランティア活動の届出が前提です。

Q 廃屋対策への考えは

住岡 淳一 議員

A 非常に厳しい問題

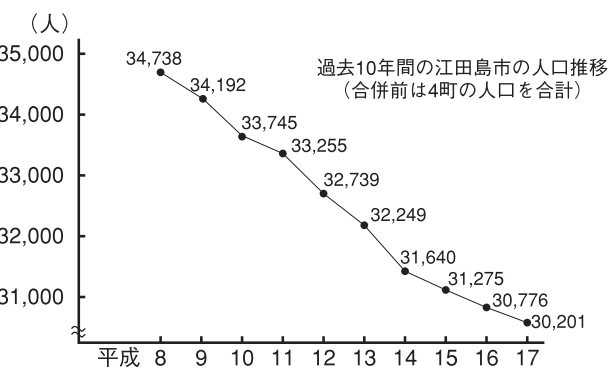
市長

Q 江田島・能美・沖美・大柿地区の方々から、廃屋についての質問や不安の声を聞いています。防犯・防災・事故等の観点からも、周りの景観を損ねることからも、個人の財産権の問題と承知しているが、市長の廃屋

対策の考えは。
A 現時点では、住民からの通報やパトロールにより情報を一元化し、現場を確認し、適切な処置をしていただくよう所有者に指導している。
Q 市の人口は、10年前と比べて4千人以上

の減少で、廃屋が増える傾向にある。廃屋の再利用等の施策はありますか。
A 基本的には個人の生命財産は自ら守るのが鉄則です。今後の方策は、ふるさとづくり協議会の中で議論している。いろいろな人の意見を踏

まえ廃屋対策について考えていきたい。



区域	江田島町	能美町	沖美町	大柿町
戸数	約50戸	約30戸	約10戸	約20戸

Q 特色ある保育園を

沖 也寸志 議員

A サービス向上に努める

市長



▲保育園事業のサービス向上に努めます

Q 本市では、次世代育成支援行動計画を策定し、推進しています。保育園も時間延長、一時保育等、サービスの充実

に努力しています。少子化と過疎により園児が減少している中、今後より特色のある保育園が望ま

